

＜先週の説教から＞

『平和聖日・ルカ81 — いつまで がまんしな
ければならないのか！』

武田真治 牧師

ゼカリヤ書 11:7～16 ルカ福音書 9:41～43

教団の暦で、今日は平和聖日と定められています。この日
を定めようと提案した人達は、第二次世界大戦にて原爆被爆
された広島牧師達でした。そして1962年12月の教団
常議委員会で8月第一聖日を「平和聖日」とすることが決定
されたのです。この日、私たちキリスト者は、神様がこのよ
うな戦争を望まれている、悲しんでおられるからこそ、戦
争が止まりますように、そして、二度と起きないように、起
こさないように祈り願うことが大事ではないでしょうか。

今日の聖書の箇所には、イエス様のある意味で厳しい言葉
が記されています。それが『なんと信仰のない、よこしまな
時代なのか』です。まさにこの言葉は、今に生きる私たちの
思いと繋がるように思えます。即ち、戦争が一向に終わらな
いで、かえって火種が広がっている状況や凶悪な犯罪が身近
に起こっていること、地球の気候変動も含めて、だんだんこ
の世界が、神様への信仰や敬虔な思いをなくしているのでは
ないか？ また、ますますよこしまな（原文は「曲がった」）
社会へと向かっているのではないか？ これから先どうなる
かと思いやられるという感覚で、私たちも同感できます。

しかし、正しく申しますと、このイエス様の言葉は私たち
の考えや思いをイエス様が代弁して仰っておられるのでは
ないということです。むしろ、この言葉は、①この後で『あな
たの子供をここに連れて来なさい』と言われておられるよう
にその子の“父親”に対して語られておられ、そして何より
②その癒しが出来なかった“弟子たち”に対しても、言われ
ておられる言葉＝叱責なのです。この9章の最初に、イエス
様は、12弟子全員に「病気を癒す権能を授けられた」ので
した。それなのに、自分達には出来ない、自信がない、となっ
てしまうのは、その授けられたイエス様の力を信じ切ってい
ないことになるのではないかと！ 故に『いつまでわたしは、
あなたがたと共にいて、あなたがたに我慢しなければならない

いのか。』と言われておられるのです。従って、この言葉は
イエス様に従う“私たち”に対しても、イエス様から叱責さ
れるかもしれない言葉とも受け止められるのです。

私たちひとり一人も、イエス様から導かれ、信仰者のひと
りに迎え入れられ、今までなんとか、その主に繋がって、生き
て来っていますが、以前として私自身の“歩み”はたどたどし
く、本当にイエス様に申し訳ない歩みでしかないことを、私自
身が最も分かっています。イエス様から『いつまでわたし
は、あなたに我慢しなければならないのか。』と天で思われて
いると感じます。それ故、もう私は知らない、勝手にしろ、自
分の好きなよう、思うように生きれば良いと放り出されても、
文句が言えない者だと思います。

ただ、今日の箇所は、そのように叱責されながら一方で、イ
エス様は『子供をここに連れて来なさい』と言われ、自ら癒
しを与えてくださっています。尚、ご自分のこととして受け
留めて代わりに担ってくださいます。この姿は“私が選ん
だ以上、決して見捨てない”というイエス様の強い思いの表
れだと言い得ます。私たちもそうではないでしょうか？

【今週の集会】

*聖書研究・祈祷会 I. 8月12日(水) 休 会
II. 8月13日(木) 休 会

【教勢報告】

主日礼拝 男13 女46 計59
祈 祷 会 I. 男3 女2 計5 II. 男1 女7 計8
日曜学校 幼稚科6 小中科7 計13

【次週主日礼拝】 8月16日(日)

聖 書: エゼキエル書 2:1～6
ルカによる福音書 9:43～45
説 教: 「ルカ83 — この言葉を耳に入れて
おきなさい」 武田 真治 牧 師

讃美歌: 210(1)、32、352、533、297、
92(1)

【次週当番表】

司式: IY 長老 奏楽: KH 礼拝: IK 長老
献金: TN TA 受付: KN YS
会堂準備: KK KT TR NE
HH HH

看板: 曾我千鶴 週報: IT お花: 休み

【次週集会予定】

礼拝前: ・日曜学校 ・聖書輪読会 ・はこぶねルーム
礼拝後: ・牧師と語る会 ・お茶の会
・オリブの葉編集委員会 ・日曜学校教師会

67 - 32

週 報

2026年度 教会標語

「神様に“望み”を持って、生きる！」

2026年 8月 9日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧 師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33
TEL&FAX 048-771-6549